

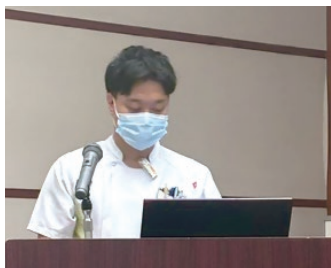
公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稜雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	令和7年度第2回東播地区ナイトセミナーを開催して・参加して／令和7年度検査セミナーが開催されました ……	1
	令和7年度第16回西播地区研修会が開催されました・参加して／令和7年度「検査と健康展」を開催して／ #研究班(化学免疫研究班)／今後の予定／来年度以降のHYOGO NEWSIにつきて ……	2・3
	[第12回] 突撃! とんりの検査室(株式会社兵庫県臨床検査研究所) ……	4
	会員情報『私の推し事』数珠つなぎ VOL. 05 ……	5

令和7年度第2回東播地区ナイトセミナーを開催して

西田 純子 会員 (東播地区理事)

令和7年11月14日に第2回東播地区ナイトセミナーを現地及びWeb併用のハイブリッド形式で開催しました。今回は他職種からの講演で日頃の検査業務に役立つテーマがないかと考え、放射線技師による画像の見方を学習しようと企画しました。ナイトセミナーではハイブリッド開催が定番になってきていますが、回を重ねるごとに現地参加の方も増えてきており嬉しい限りです。セミナー終了後のアンケートでは、活動の励みとなる温かいご意見をいただく一方、Web視聴側からの問題点など今後の改善に役立つ貴重なご意見もお寄せいただきました。これらを踏まえ、これからもより多くの方にご参加していただけるよう、次回以降のナイトセミナーの充実につなげていきたいと考えております。



浜口 侑大 先生



東播地区役員

最後になりましたが、開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

令和7年度第2回東播地区ナイトセミナーに参加して

米澤 宜洋 会員 (明石市立市民病院)

今回は「～学んで活かそう～ 放射線画像の見かた」のテーマの東播地区ナイトセミナーに参加させていただきました。

放射線の基礎から始まり、CT・MRI・レントゲンなど各モダリティそれぞれの特徴を踏まえ、病変の見方や見落としやすい所見の具体例を交えながら示していただき、非常にわかりやすい講演でした。

レントゲン撮影時のA-P、P-Aの違いや撮影距離が180cmと決まりがあるなど、研修会に参加しなければ知ることがなかった多職種の仕事内容もわかりました。

また、撮影条件や造影剤使用の有無で検査結果に影響が出ることを再確認しました。

普段から超音波検査に従事しているため放射線画像は見慣れていると思っていましたが、研修会で学んだポイントを思い返しながらか放射線画像を見ていこうと思います。

今回の研修会で得た知識を部署内で共有しつつ、今後の業務に活かしていこうと思います。

令和7年度検査セミナーが開催されました

令和7年12月6日に、兵庫県臨床検査技師会と兵庫県がん診療連携協議会と共催で開催された検査セミナーに参加させていただきました。今年度も現地会場とZoomを用いたハイブリッド開催により多くの方にご参加いただけたことと思います。

さて、今年度は「がん診療における心エコー図検査の役割～がんサバイバーのQOL向上のために～」というテーマで開かれたこのセミナーですが、臨床検査技師だけでなく医師や薬剤師の方々からも講演を拝聴することができました。

私たち臨床検査技師の中には、ルーチン業務で心エコー検査に携わっておられる方も多いと思います。野中先生の講演では、がん治療中あるいは治療後の患者さんの心エコー図を経時的変化とともに何例か紹介していただきました。抗がん剤には心血管毒性があるものも少なくなく、そのような患者さんには抗がん剤投与前・投与中・投与後に侵襲性の少ない心エコー検査での心機能評価が重

要になるとのことでした。投与中に心機能低下が見られた例、また投与終了後数年経ってから心機能低下が見られた例など先生が実際に体験された症例を実際に拝見させていただくことで心エコーの有用性・重要性を再認識することができました。

また、薬剤師である荒瀬先生の講演では、薬剤師の立場から心血管毒性のある抗がん剤の例について講演をしていただきました。日々の検査の中では患者さんが使用している薬物や抗がん剤を把握することが難しく、私自身似通った名前の薬剤が多いため薬剤について苦手意識を持っているのですが、よく使用される薬剤や特に心血管毒性があるものについて詳しく講演していただき非常に勉強になったと感じました。

最後に岡政先生の施設の心エコー検査室で実際に行われている取り組みについて講演を拝聴しました。その検査室では、GLS計測を積極的に取り入れて患者さんの心機能評価をされているそうで、その意義や有用性についてさらに理解を深めることができました。検査室独自に抗がん剤一覧を作成して掲示されており、薬剤に対して理解を深めようとする姿勢に感銘を受けました。

本セミナーに参加し、ルーチンで行っている心エコー検査が、がんと闘う患者さんにとってどれだけ有用で重要かを他職種の方達の講演を聞く中でさらに理解することができました。検査をするだけでなく、他職種からの視点を知ることの大切さを感じる機会にもなり、今後ともさらに知見を深めていきたいと思いました。

文責：広報 藤原



令和7年度第16回西播地区研修会が開催されました

11月9日（日）に開催されました西播地区研修会に参加させていただきました。研修会の内容はRCPC（reversed clinico-pathological conference）で2症例解説いただきました。1症例目では患者の既往歴と血球検査データ、生化学検査データを用いて、2症例目では患者の入院時所見と2日間の血液ガスデータを用いて疾患を読み解くという内容でした。症例1では検査結果より疾患をある程度予想できましたが、症例2では普段担当していない分野ということもあり見当が付きませんでした。いざ先生の解説を聞くと症例1でも見落としている点もあり、疾患も予想していた以上に深刻な疾患であった為、とても驚きました。検査データの着眼点から解釈まで丁寧に解説をいただき、非常に勉強になりました。また、症例2の血液ガスデータの見方についても先生のわかりやすい解説で理解を深めることが出来ました。今後とも積極的に研修会に参加し、検査データをしっかりと読み取れるよう臨みたいですね。講師の先生方、並びに企画・運営いただいたスタッフの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

松尾 収二 先生



高橋 千晶 先生



岡 志保 先生



役員・先生集合写真

令和7年度第16回西播地区研修会に参加して

井上 昌紀 会員（三栄会広畑病院）

上司から「今回の研修会はRCPCについてあります」との案内がありました。臨床検査技師でありながら、RCPCって何ですか？と思っていました。ポンコツと言われる僕は誰にも聞けないのでAI様のお力をおかりし、回答を頂きました。

研修会での検査データをみても高い？低い？貧血でさらに肝臓が悪いのかな？と僕のポンコツの頭脳ではここまでしか推察出来ませんでした。更に血液ガス検査データに至っては苦手意識が先行し、アシドーシス？アルカローシス？呼吸性？代謝性？どのような病態にあらわれるのかまで考察するに至りませんでした。

さらに演者お二人の素晴らしい推察と病態診断で申し分ないと感じませんでした。

松尾収二先生の解説が始まると思い出せない様な基礎基本、解剖から閉塞などの単語の意味、検査項目の理解度、画像診断等、あらゆる方面から推察し診断に導かなければならない。当てることではなく、深く読み解いていくことが大事なんだと。これがRCPCなのかと痛感しました。

今後様々な視点から臨床検査技師の役目を果たしていかなければならないと思いました。

令和7年度「検査と健康展」を開催して

澤村 暢 会員（公益事業部長）

令和7年11月23日（日）、神戸市長田区の神戸常盤大学にて開催された「KOBETOKIWAふれあい健康フェスタ2025」との共催企画として、「検査と健康展」を実施しました。

当日は、頸動脈エコー・体組成測定・Hb測定・血管年齢測定・骨密度測定の健康チェックコーナーに加え、子ども向け体験ブース、兵庫県臨床検査技師会による広報ブースを設置し、地域の皆さまに臨床検査技師の業務内容を紹介しました。

健康チェックには、頸動脈エコー147名、体組成測定132名、Hb測定239名、血管年齢測定240名、骨密度測定211名と、多くの地域住民の皆さまにご参加いただきました。毎年の参加者も多く、地域の健康意識の高さと、このような機会への継続的なニーズを改めて実感する結果となりました。

また、今年度は新たな試みとして「中高生向け臨床検査体験コーナー」を開設しました。県内の臨床検査技師養成校との協働により実施し、保護者を含む6組の方々にご参加いただきました。臨床検査技師という職業を進路の選択肢として知っていただく、非常に有意義な機会となりました。

この企画を通じて、臨床検査技師という職業への理解を深めていただくとともに、中高生の皆さんが将来の進路選択の一つとして臨床検査技師を考えるきっかけづくりにもつながったと感じています。



血管説明



頸動脈エコー

集合写真

#研究班

久富 大樹 会員（化学免疫研究班）

「臨床に報告する検査結果の正確性を、どう保証していますか？」

精度管理の目的は、検査室で安定した値を出すことだけではありません。最も重要なのは、その結果が臨床で正しく使えることです。診療に影響しない範囲で結果を保証するためには、再現性だけでなく正確性も評価する必要があります。

近年、世界ではこの正確性を担保するために許容総誤差（TEa）という指標が広く活用されています。TEaは「臨床的に許される誤差の範囲」を数値化したもので、検査結果が診療に影響しないかどうかを判断するための基準です。たとえば血糖値なら±10%以内ならOKというように、臨床的な視点で検査の品質を評価できます。欧米では、この基準をもとにQC戦略やシグマメトリックス評価（TEa・バイアス・CVから分析性能を数値化する方法）を行い、施設間でデータの互換性を確保する取り組みが進んでいます。一方、日本では従来、再現性を重視する管理が中心でしたが、正確性を含めた評価を取り入れることで、より臨床に近い精度保証が可能になります。

ここで重要なのは、現在の運用を変える必要はないということです。まずは、TEaを「一つの指標」として取り入れてみることから始めてはいかがでしょうか。主要項目でTEaと自施設のばらつきを比べるだけでも、どの検査が安全で、どれが注意すべきかが見えてきます。変動が大きい項目はQCを増やす、キャリブレーションのタイミングを見直す。一方で、安定している項目はQCを減らすことで、業務の効率化も可能です。

精度管理は難しく感じるかもしれませんが、目的は「診療に使える正しいデータを届けること」です。まずは、TEaを参考に精度管理体制を見直すことから始めてみませんか？その一歩が、将来の「どこで測っても同じ意味を持つ検査」につながります。

《今後の予定》

第34回東播地区研究発表会

日時／令和8年2月28日（土） 13:00～15:30

場所／明石市立市民病院 講義室

内容／特別講演「臨床検査技師の未来戦略：臨床検査のプロで活躍する方法」・一般演題

来年度以降のHYOGO NEWSにつきて

平素より、技師会広報事業にご理解ご協力を頂きありがとうございます。

会員の声と昨今のペーパーレス化を鑑みて、来年度以降のHYOGO NEWSの発送は、基本的に各施設1部（個人会員は除く）とし、Web版で閲覧して頂く形になりました。

何卒、ご理解のほど宜しくお願いします。

<Web版>

技師会HPのメニュー

（広報部 HYOGO ニュース・ジャーナル）

<https://www.hamt.or.jp/kouhou/HYOGOnews>



第12回

突撃！ となりの検査室

株式会社兵庫県臨床検査研究所

《所在地》〒671-2224 兵庫県姫路市青山西5丁目6番2号

●概要

施設名	株式会社兵庫県臨床検査研究所
部署人数	技師／79人 その他／10人 男女比／1:2 経験年数／～5年目19人、～10年目8人、 11年目～52人
勤務体制	勤務時間／8～17時、9～18時、10～19時、 11～20時、16～25時、17～26時 夜勤体制／2交代10人体制
第三者認証	取得済み(ISO15189、日臨技品質保証施設認証、他)

●検査室で行っている検査領域

検体検査 化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	臨地実習・資格手当等
詳細	昨年度より、検査センターでも臨地実習が受け入れられる事になり、今年度、細菌検査室で1名の実習生の受け入れを行いました。2校の検査技師養成学校からも3～5時間の見学要請を受けており、見学中に抗核抗体などの実習も行っています。次世代技師育成にも協力を惜しみません。 弊社・検査室では、社員のモチベーションアップを図る為に、基本給以外に、検査技師手当、認定検査技師等、2級検査士等の資格手当を付けています。

●検査領域

分野	検査機器	年間件数
化学	日本電子JCA-BM8040GX等	16,329,690
免疫	ルミパルスL2400等	787,590
血液	XN-1000等	2,620,991
一般	OCセンサーPLEDIA等	191,644
微生物	バイテックMS等	282,514
遺伝子	コパス5800システム等	30,254
輸血	VISION Swift等	38,823
病理	ダコOmnis等	179,276

●新人教育について

新人教育の進め方	当検査部では、専門性の高い人材育成に力を入れております。入職後は、数年以内に学会等での発表を目標とし、必要な支援を行います。加えて、認定検査技師や2級臨床検査士等の資格取得を積極的に推奨しております。
フレッシュな技師さんから一言	(小畑 和輝(おばた かずき)) 一般検査部門に配属され、現在は尿や便検査などの検体処理を担当しています。先輩技師の指導のもと、正確かつ迅速な検査結果を提供できるよう、日々業務に取り組んでおります。今後は認定一般検査技師の資格取得を目指し、さらなる知識の習得と技術の向上に努め、地域医療に貢献できる臨床検査技師を目指します。

●運用面での工夫など

当検査部は、本社棟の「臨床検査課」と病理棟の「病理検査課」の2部門で構成されています。

臨床検査課はさらに「中央検査室」と「細菌検査室」の2部門に分かれて運用しています。

現在、中央検査室では血液検査部門と一般検査部門のルーチン一体化を目指し、業務の効率化を推進しています。

●技師長より、読者へ向けて一言よろしく願いいたします

当検査部では、兵庫県・岡山県をはじめ、近畿圏内の各病院・医院からお預かりした検体について、迅速かつ正確な検査を心がけております。各分野において多様な検査を実施しており、貴施設の参考となる情報もご提供できると存じます。

お時間がございましたら、ぜひ当検査部の見学にお越しください。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。

文責：川嶋 雅也 会員（兵庫県臨床検査研究所）



病理検査室



細菌検査室



中央検査室



一人旅を通して 自然に触れること

中岡 和奏 会員(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

兵庫県立はりま姫路総合医療センターの中岡和奏です。

私が紹介する推し事は「一人旅を通して自然に触れること」です。

上高地や直島など、無理なく移動できて自分のペースで楽しめる場所に行くことが多いです。上高地では歩きやすい道が整備されているので、特別な準備をしなくても自然をしっかりと感じることができます。川の音や景色に触れるだけでも気分転換になり、リラックスする時間として役立っています。直島では、電動自転車をレンタルして、自然の中にあるアートを見ながら移動することで普



段とは違う刺激を受けることができます。海沿いのエリアも落ち着いていて、少しゆっくり過ごしたい時にちょうどいい雰囲気です。一人旅は、自分の体力や気分に合わせて予定を調整できるので、無理せず気軽に行けるのも魅力だと思います。短い旅でも自然に触れることで、気持ちが切り替わり、日常に戻った後、自然と集中力が上がっている感じがします。最近は兵庫県内にも魅力的なスポットが多いと感じており、丹波篠山市など近場で自然を楽しむ場所へも今後行ってみたいと思っています。忙しい毎日の中でも、自分に合ったリフレッシュ方法を見つけて心と体を整える時間を作ってみてはいかがでしょうか。



上高地を流れる梓川の色



岩魚の塩焼き(上高地)



瀬戸内の美しい風景と
調和したアート作品



レンタルした電動自転車
(直島)



Together for a better healthcare journey



**全自動免疫測定装置
HISCL™-5000**

医療機器製造販売届出番号：2881X10014000011

**検査環境にフレキシブルに対応
HISCLシリーズ。**

医療環境の検査部門に
求められる効率化と高付加価値化に
必要なポテンシャルを備えて
誕生しました。

迅速測定

高感度

微量検体

優れた
ユーザビリティ



**全自動免疫測定装置
HISCL™-800**

医療機器製造販売届出番号：2881X10014000012

製造販売元
シスメックス株式会社

(お問い合わせ先)

支店 仙台 022-722-1710	北関東 048-600-3888	東京 03-5434-8550	名古屋 052-957-3821	大阪 06-6341-6601	広島 082-248-9070	福岡 092-687-5380
営業所 札幌 011-700-1090	盛岡 019-654-3331	長野 0263-31-8180	新潟 025-243-6266	千葉 043-297-2701	横浜 045-640-5710	静岡 054-287-1707
金沢 076-221-9363	京都 075-255-1871	神戸 078-251-5331	高松 087-823-5801	岡山 086-224-2605	鹿児島 099-222-2788	

www.sysmex.co.jp

注：活動及びサイトの利用範囲は地域により異なります。
詳細は www.bva.com の ID 0910589004 を参照。
Note: Scope of sales and activities vary depending on the standard.
For details, refer to the ID 0910589004 at www.bva.com

2504

Canon

私たちは、 「いのち」から始まる。

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であると
キヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。
創業以来、つねに医療関係者の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。
その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、
世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。
医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために。
私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、
そして、ともに歩むために。

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>



Z000059-02